

## 交通安全意識の向上を 事故抑止運動に力注ぐ

財団法人留萌市交通安全協会



▲啓発活動に取り組む留萌市交通安全協会や関係団体のメンバー

留萌市交通安全協会は、交通事故撲滅などを目的に発足した財団法人です。留萌警察署や関係団体と連携し、交通安全講習や高齢者を対象とした夜光反射材着用街頭指導、ドライバーへのパトライト作戦などを通じて、市民の交通安全意識の向上に努めています。

同協会では、「新入学児童を交通事故から守ろう」と入学式に合わせて新入学児童や家族に注意を呼びかけています。その中の活動の一つとして、交通安全冊子や学習ノートを市内全小学校の新入学児童にプレゼントしています。

交通安全冊子などのプレ



財団法人 留萌市交通安全協会  
なかがわ しゅうこう  
中川 修光さん

ゼントは昭和48年から毎年行っている活動で、会長の中川修光さんは「雪解けのこの時期は、車の運転がしやすく、速いスピードで走行する車が増えます。新入学児童は交差点などでしっかりと左右を確認して、十分に気をつけて横断しましょう」と訴えています。

最近では携帯電話の画面を見ながら歩く人がいることを懸念し、「子どもたちよりも大人に多く、とても危険な行為だと思えます。私たち大人も子どもたちを見習ってしっかりと交通ルールとマナーを守りたいですね」と話しています。

昨年は留萌市、増毛町、

小平町の留萌警察署管内で交通事故ゼロを達成しました。「この快挙は啓発活動だけで達成できることではありません。運転する一人ひとりの思いやりとマチ全体の交通安全への関心の高さによるものだと考えています。早めのライト点灯やスピードダウンなどを呼びかけ、交通事故の発生を抑止する運動にこれから力注いでいきたいと思えます」と意欲を燃やしています。

市では、今後も同協会や関係団体などと連携を深めて交通事故のないマチづくりを進めていきます。

## 留萌の魅力を 楽しめる おもてなしスポットに

千望台休憩所 景食ハウス



▲パブリックビューイング方式のサッカー観戦を楽しむ来店客たち

留萌市の観光名所の一つで、市街地を一望できると観光客や市民から人気がある千望台には、昭和59年に設置されたログハウスの休憩所があります。平成25年にリニューアルした景食ハウスは、景色と食事が楽しめる新しい観光スポットとして来店客を喜ばせています。

店長の浅野目洋平さんは北広島市出身で、留萌に来る前は環境保護などに取り組む札幌市のNPO法人で働いていました。「留萌に移り住むきっかけは、25年の2月に開かれた留萌地域おこし協力隊の活動見学会イベントです。そこで千望



千望台休憩所 景食ハウス  
あさのめ ようへい  
浅野目 洋平さん

台休憩所内のレストランで店長を募集していることを知り、応募しました」と振り返り、「留萌市は海の幸、山の幸と食材が豊富なほか、地域を盛り上げたいと熱い思いを持って活動する方たちがたくさんいるなど、魅力いっぱいのマチだと思います」と印象を語っています。

開店2年目となった昨年は、地元食材を使ったメニューを増やしたほか、気軽に来店できる場所にするため音楽コンサートやパブリックビューイング方式のサッカー観戦などのイベントを開催しました。「観光名所の千望台は、景色を楽

しむために多くの観光客が訪れますが、若い世代は少ないようです。若者が集まりやすい情報交換の場所にしていきたいと考えています。

4月25日のオープンに向けて「お客さんの要望を取り入れた新メニューを提供できるように、いろいろと試行錯誤しています。留萌のおもてなしスポットとして皆さんに楽しんでいただければ幸いです」と話しています。

景食ハウスの営業時間は、期間によって異なります。詳しくは下記までお問い合わせください。

問 千望台休憩所 景食ハウス ☎ 42-0569

問 財団法人 留萌市交通安全協会 ☎ 42-8711